

津波からの避難場所として、津波避難タワーと「命山（いのちやま）」の計画、建設が進んでいます。

避難タワーについては各地の自治体で建設が進んでいる鋼鉄製の塔で、天端面を平坦にして階段で登って行って避難するものです。もう一方の命山は、まだ全国の自治体でもあまり取り組みが行われていないもので、土砂などを高く盛り、天端面を平坦にして、避難場所とするものです。

同市には昔からこの命山が2つあり、今回の計画を「平成の命山」と名付けています。命山は広い敷地面積が必要ですが、タワーに比べていくつかのメリットがあります。タワーには耐用年数があり、また10年一度ペンキ塗装などもメンテナンスも必要ですが、命山では一度造れば、半永久的に使うことができます。またタワーは普段は危険なため立ち入れ禁止となりますが、命山は普段公園として使うことができます。

このあと国会に視察にいきましたが、内閣府の防災の補助事業として、津波避難タワーや緊急警報放送などとともに、この命山にあたる「築山（つきやま）」という事業がありました。

#### 袋井市の避難タワーと命山の計画

##### ◆津波避難タワー

- ・ 工事期間 平成24年7月～平成24年11月末
- ・ 避難面積 162㎡、避難実験では、大人1人/1㎡  
子供1人/0.5㎡
- ・ 避難場所高さ 海拔12.0m
- ・ 工事費（用地費含む） 1億2300万円  
（1/2は国庫補助金）

##### ◆命山

- ・ 工事期間 平成24年11月～平成25年8月末
- ・ 避難面積 800㎡
- ・ 避難場所高さ 海拔12.0m
- ・ 工事費（用地費含む） 2億2000万円  
（1/2は国庫補助金）

袋井市命山整備事業 実施計画書  
命山整備事業 概要

